



edion通信

2005年4月1日～2006年3月31日

第5期事業報告書



株式会社 エディオン

<http://www.edion.co.jp>





「買って安心、ずっと満足」 商品、サービス、接客のすべてを強化します。

エディオングループは、「お客様第一主義」を経営理念とし、お客様に安心して商品をご購入いただくだけでなく、商品の寿命が尽きるまで、最良の状態でお使いいただけるサービス体制の強化に取り組んでおります。

商品面では、独自の機能を付加した“KuaL(クオル)”、一人暮らしを応援する“keyword(キーワード)”、環境に優しいデバイス商品“MY&OUR(マイアンドアワー)”などを展開しております。サービス面では、きめ細かい時間指定配送メニューの充実や、即日修理体制の強化などに努めております。

エディオングループは、今後も「お客様第一主義」の経営理念のもと、商品、サービス、接客の強化、業務全般の合理化に努め、お客様に一層の安心と満足をお届けしたいと願っております。また、ステークホルダーの皆様信頼される社内体制を堅持し、安定的な配当を継続すべく、経営陣をはじめ全社一丸となって積極的な取り組みを進めてまいります。

2006年6月

代表取締役社長 久保 幸彦





お客様の声に使いやすさをプラスした オリジナル商品の開発を強化します。



お客様の暮らしに寄り添った、より使いやすい商品をお届けしたいという願いから、2005年1月、新オリジナル商品シリーズ「KuaL（クオル）」の販売を開始しました。KuaLはお客様のさまざまな声に、エディオングループ独自のアイデアをプラスし、国内家電メーカーとの共同開発によって誕生したオリジナル商品です。お客様のライフスタイルやニーズに合わせた付加機能により、プロパー商品との差異化を図るほか、一部のエアコン、冷蔵庫には画期的な「10年間保証」を適用し、多くのお客様から高い支持をいただいています。

2006年度は、アイテム数3,000アイテム、売上高構成比30%を計画目標として、お客様のニーズに対応した商品の開発に一層注力していきます。これにより、他社にはない付加価値の高い魅力的な商品ラインナップをさらに充実させ、お客様の満足度と収益性の向上を図ります。



「買って安心、ずっと満足」のさらなる追求、 アフターサービスの充実による満足度向上を目指します。



エディオングループでは、お客様に「買って安心、ずっと満足」と感じていただくため、アフターサービスの充実にあります。

特に、商品故障時の修理については、eeカード会員様への5年間長期修理保証のご提供や、即日修理体制の強化に注力しています。eeカードにおける5年間長期修理保証がお客様の高い支持を受け、2006年3月に会員数300万人を達成することができました。会員数400万人達成を目指し、今後もeeカード機能の強化に取り組んでいきます。

また、サービス拠点の整備を進めることで、即日・時間指定配達、修理の即日訪問、修理品の納期短縮など、一貫したアフターサービスをご提案できるよう努めています。

これからも、さらにサービスメニューを充実させ、「買って安心、ずっと満足」を追求し続けます。



新業態開発の第一歩として、 家具・インテリア、玩具などの事業をスタートしました。



エディオングループでは、家電と家具の複合店をはじめ、インテリア、リフォーム、ホビーなど、家電商品を中心とした、家電商品と相乗効果のある多彩な業態の開発に努めています。2005年7月には家具、照明器具、キッチン用品、オーダーカーテンを扱う「ホームエキスポロックスシティ大垣店」、12月には150坪の玩具コーナーを設けた「エイデン津北店」をオープンしました。さらに2006年2月には、広島市中心部にゲーム、ホビー、携帯電話の専門店「デオデオ ネバーランド袋町店」をオープンしました。

こうした実績をもとに、2006年4月には家電のほか、家具、住宅設備、ソフト、ゲーム、玩具などを取り扱う大型複合店舗「ミドリ豊中店」をオープンしました。

今後もエディオングループは新業態の開発に積極的に取り組み、お客様のお買い物における利便性の向上を目指します。

■会社概況 (2006年3月31日現在)

- 会社名 株式会社エディオン
- 事業内容 家庭電化商品の販売を主として行う完全子会社である株式会社デオデオ、株式会社エイデン、株式会社ミドリ電化および家具・インテリアの通販事業を行う株式会社暮らしのデザインの株式を所有することにより当該子会社の経営管理をする。
- 設立日 2002年3月29日
- 資本金 101億7,463万円
- 本店所在地 東京都品川区西五反田八丁目9番5号
- 本社事務所 愛知県名古屋市中種区覚王山通八丁目70番地の1
- 上場証券取引所 東京、名古屋証券取引所 市場第一部
- 正社員数 246名(単体)
8,413名(連結)

■株式の状況 (2006年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000株
- 発行済株式総数 105,665,636株
- 株主数 15,791名

■取締役・監査役 (2006年6月29日現在)

- 取締役
代表取締役社長 久保允誉 (株式会社デオデオ取締役会長)
取締役副社長 岡嶋昇一 (株式会社エイデン代表取締役社長)
(管理統括本部長 兼 業態開発部長)
取締役副社長 梅原正幸 (株式会社ミドリ電化代表取締役社長)
取締役副社長 友則和寿 (株式会社デオデオ代表取締役社長)
(営業統括本部長)
取締役 柳田勉 (株式会社デオデオ常務取締役)
(商品統括本部長)
取締役 藤川誠 (株式会社エイデン常務取締役)
(総務人事部長)
取締役 村田博雄 (株式会社ミドリ電化代表取締役専務)
取締役 外山晋吾 (経営企画室長)
- 監査役
常勤監査役 佐々木正弘 (株式会社エイデン監査役)
監査役 石田勝治
社外監査役 異相武憲 (株式会社エイデン監査役)
社外監査役 沖中隆志 (株式会社ミドリ電化監査役)

株主メモ	01
営業の概況	02
グラフで見るエディオン	03
事業の概要	05
事業会社の概要	06
連結財務諸表	07
連結貸借対照表	07
連結損益計算書	09
連結剰余金計算書	10
連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)	10

株 主 メ モ

- 決算期 毎年3月31日
- 基準日 3月31日
- 株主名簿管理人
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先
東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711(通話料無料)
- 各種お手続き用紙のご請求
TEL 0120-244-479(通話料無料)
- ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
- 同取次所
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店



エディオングループは、2005年4月には株式会社ミドリ電化を株式交換により完全子会社としました。また、子会社4社のショッピングサイトを統合した「エディオンダイレクト (<http://shop.edion.jp>)」を5月に開設し、日本最大級のショッピングサイトの運営を開始しました。企業戦略としては、インテリア、玩具などを取り入れた新業態店舗の取り組みを進め、「ホームエキスポロックシティ大垣店」をはじめ、3店舗がオープンしました。株式会社エイデンにおいては、株式会社デオデオのノウハウを生かした小型フランチャイズ事業展開を開始し、地域密着サービスのさらなる拡充を図っております。

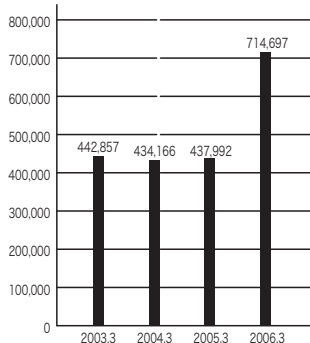
以上の結果、今期連結業績概況は、売上高7,146億97百万（前年同期比163.2%）、営業利益80億54百万（前年同期比160.7%）、経常利益203億89百万（前年同期比182.6%）、当期純利益82億26百万（前年同期比167.3%）となりました。

エディオングループは、こうした「サービス型小売業」の経営理念を徹底的に追求し、家電業界のトップブランドとなることを目指してまいります。

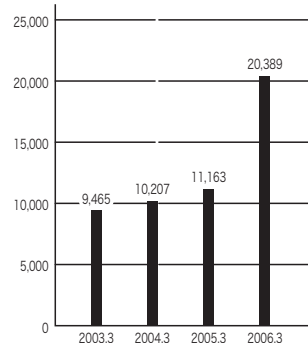
2006年6月

代表取締役社長 久保 隆行

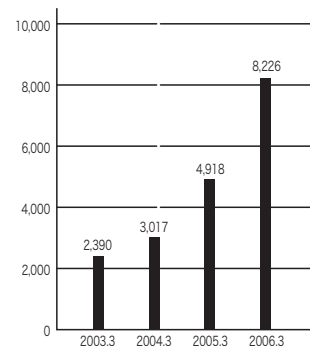
● 売上高 (単位：百万円)



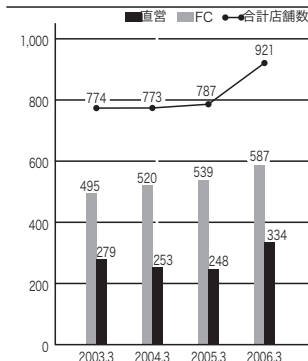
● 経常利益 (単位：百万円)



● 当期純利益 (単位：百万円)



● 店舗数 (単位：店舗)

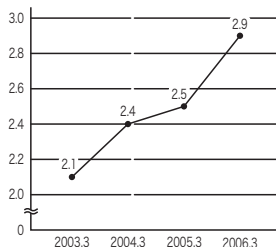


エディオングループは、2002年3月にデオデオとエイデンが統合することにより誕生しました。以後、2005年3月期までは、効率性の追求に努め、不採算店・小型店の閉鎖を行ってきました。2006年3月期は、2005年4月に近畿地方のミドリ電化を株式交換により統合し、出店においても成長性を追求する戦略へと転換してきました。その結果、2006年3月期の売上高は前年比163.2%、経常利益は前年比182.6%、当期純利益は前年比167.3%となりました。

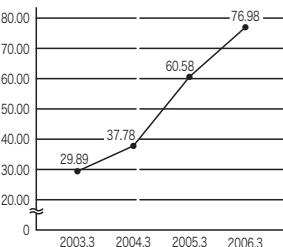
直営店は、新規出店25店、移転・スクラップアンドビルド12店、閉鎖24店により2006年3月末現在で334店舗となりました。

また、フランチャイズ店舗は、2005年6月からエイデンの中部エリアにおいても展開を開始し、2006年3月末現在、デオデオ561店、エイデン22店、ミドリ電化4店の合計587店舗となりました。

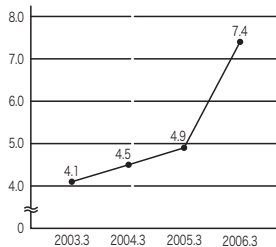
● 経常利益率 (単位：%)



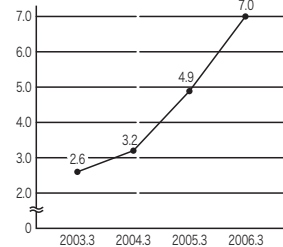
● 一株当たり当期純利益 (単位：円)



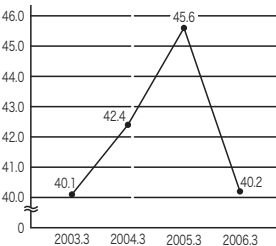
● ROA (総資本経常利益率) (単位：%)



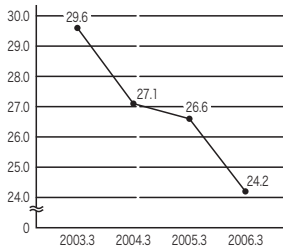
● ROE (株主資本当期純利益率) (単位：%)



● 株主資本比率 (単位：%)



● 有利子負債比率 (単位：%)

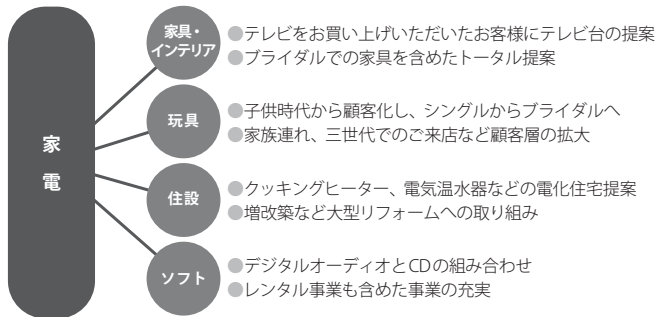



2006年3月期の経常利益率は2.9%となり、前年比で0.4%改善しました。これは、商品構成の変化による売上総利益率の改善、財務統合の推進による支払利息の削減などによるものです。


また、2006年3月期の株主資本比率は40.2%、有利子負債比率は24.2%となり、それぞれ目標である40%以上、30%以下を4期連続で達成することができました。

今後、エディオングループでは、売上高1兆円、経常利益率5%を中期目標とし、成長性と効率性の追求に努めていきます。また、資産・負債の圧縮と収益力の向上により、ROA・ROEともに10%以上の実現を目指します。


2006年3月期において、家具・インテリア、玩具などの新しい業態を取り入れた店舗を4店舗展開しました。新業態開発については家電商品を中心とし、家電商品と相乗効果のある事業の展開ということで取り組んでいます。2007年3月期においても、家電、家具・インテリア、玩具などの大型複合店2店舗を含め、積極的な展開を図っていきます。


新しいコンサルティングセールスの試み
ホームエキスポ ロックシティ大垣店 (エイデン)
 2005年7月29日オープン (923坪)
 岐阜県大垣市にオープンした家具・照明・インテリアの専門店。女性スタッフによるコンサルティング接客や、インテリアコーディネーターによるセミナー開催などを強化しています。



総合的な商品構成
中環東大阪店 (ミドリ電化)
 2005年11月11日オープン (2,943坪)
 東大阪市に展開する約3,000坪の大型店舗です。家電、家具、玩具、ソフトと総合的な商品構成が充実しています。



エイデン初の玩具取り扱い店
津北店 (エイデン)
 2005年12月9日オープン (津北店内150坪)
 三重県津市にオープンした津北店内150坪のフロアーに、玩具売場を設けました。エイデンとしては初の試みです。




ゲーム、ホビー、携帯電話の専門店
ネーバーランド袋町店 (デオデオ)
 2006年2月17日オープン (1,000坪)
 広島市中区に誕生したデオデオ初の玩具専門店。広い売場面積を活かした豊富な品揃えと、実際に触れて見て体験できる店舗として展開しました。




広島に本店を置く株式会社デオデオは、大規模直営店舗を中核として周辺に小型フランチャイズ店舗「DFS」を配置する地域密着型のエリア戦略を展開。販売からアフターまで、お客様のニーズに合わせたきめ細かなサービスを提供しています。2006年3月現在、店舗数は677店舗 (直営116店舗、フランチャイズ561店舗) を数え、中国、四国、九州エリアにおいてマーケットシェアをさらに拡大しています。



名古屋を本拠地とする株式会社エイデンは、総合家電事業 (エイデン) のほか、情報通信事業 (コンプマート)、ホームセンター事業 (ホームエキスポ) などを展開し、お客様の幅広いニーズに対応。お客様の満足度の向上を目指し、積極的な取り組みを進めています。2006年3月現在、店舗数は146店舗 (直営124店舗、フランチャイズ22店舗) を数え、中部エリアでのマーケットシェアを一段と高めています。



尼崎に本社を置く株式会社ミドリ電化は、家電、AV機器、家具・インテリアをはじめ、玩具、CD・DVDソフト、テレビゲームなど幅広い商品を展開。心をこめた接客からアフターサービスまで、お客様の期待を超える「サービス型小売業」を目指しています。2006年3月現在、店舗数は98店舗 (直営94店舗、フランチャイズ4店舗) を数え、近畿エリアで高いマーケットシェアを占めています。



東京都品川区に本社を置く株式会社暮らしのデザインは、家具・インテリアの通信販売カタログ「暮らしのデザイン」を発行し、全国3万6,000店のコンビニエンスストア・書店などで販売しています。また、インターネットショッピングサイト「エディオンダイレクト」を運営し、家電4万点、家具2万点のアイテムを紹介。心地よい生活空間の提案を通して、お客様に満足をお届けするダイレクトマーケティング事業を展開しています。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	第5期 (2006.3.31現在)	第4期 (2005.3.31現在)
(資産の部)		
流動資産	129,104	87,081
現金及び預金	13,911	13,495
受取手形及び売掛金	20,879	14,189
有価証券	—	50
2 たな卸資産	79,658	47,111
繰延税金資産	4,639	3,402
その他	10,145	8,947
貸倒引当金	△ 130	△ 114
3 固定資産	190,290	144,095
有形固定資産	136,999	94,268
建物及び構築物	68,544	39,982
器具及び備品	4,343	3,859
土地	58,478	49,672
建設仮勘定	3,803	739
その他	1,829	15
無形固定資産	8,590	4,523
連結調整勘定	1,087	1,122
その他	7,503	3,401
投資その他の資産	44,700	45,303
投資有価証券	4,571	16,770
繰延税金資産	3,892	3,459
差入保証金	31,592	20,526
その他	5,133	5,121
貸倒引当金	△ 489	△ 574
繰延資産	112	233
創立費	—	18
開業費	66	155
新株発行費	45	59
1 資産合計	319,507	231,410

1 資産合計……2005年4月ミドリ電化の事業統合により増加。

2 たな卸資産…ミドリ電化統合による純増が320億円。
デオデオ・エイデンの既存店ベースでは減少（前年比▲2.8%）。

3 固定資産……設備投資額180億円。

科目	第5期 (2006.3.31現在)	第4期 (2005.3.31現在)
(負債の部)		
流動負債	120,388	79,921
支払手形及び買掛金	51,711	27,829
短期借入金	14,500	27,000
一年内返済予定の長期借入金	13,051	3,730
一年内償還予定の社債	240	3,000
未払法人税等	4,290	3,025
未払消費税等	1,103	479
賞与引当金	4,708	3,263
ポイント引当金	5,721	3,307
その他	25,061	8,286
固定負債	69,589	44,868
社債	1,040	500
長期借入金	48,625	27,226
繰延税金負債	48	55
再評価に係る繰延税金負債	2,663	2,680
退職給付引当金	7,311	7,721
役員退職慰労引当金	632	621
その他	9,268	6,062
4 負債合計	189,978	124,790
(少数株主持分)		
少数株主持分	1,024	1,024
(資本の部)		
資本金	10,174	10,174
資本剰余金	83,419	66,909
利益剰余金	50,262	45,102
土地再評価差額金	△ 16,253	△ 16,992
その他有価証券評価差額金	946	429
自己株式	△ 46	△ 27
5 資本合計	128,504	105,595
負債、少数株主持分及び資本合計	319,507	231,410

4 負債合計……負債のうち、有利子負債はミドリ電化分258億円純増。
ただし、ミドリ電化を除くと財務統合の効果により
前年比で98億円減少。

5 資本合計……ミドリ電化との株式交換による資本剰余金の増加および、
当期純利益82億円の計上による増加。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	第5期 (2005.4.1~2006.3.31)	第4期 (2004.4.1~2005.3.31)
1 売上高	714,697	437,992
売上原価	556,932	342,241
2 売上総利益	157,765	95,751
3 販売費及び一般管理費	149,711	90,740
営業利益	8,054	5,011
営業外収益	13,547	7,282
受取利息及び配当金	329	287
仕入割引	11,115	5,382
投資有価証券売却益	132	688
その他	1,970	923
営業外費用	1,211	1,129
支払利息	691	540
持分法による投資損失	18	137
貸倒引当金繰入額	19	2
その他	483	449
4 経常利益	20,389	11,163
特別利益	903	633
固定資産売却益	6	0
貸倒引当金戻入益	0	56
投資有価証券売却益	—	237
退職給付規程改訂益	745	—
火災保険金収入	—	118
確定拠出年金移行益	—	192
その他	150	27
特別損失	5,218	2,900
固定資産売却損	36	189
固定資産除却損	1,564	1,407
投資有価証券評価損	305	201
投資有価証券売却損	89	334
減損損失	2,063	—
賃貸借契約解約損	126	286
総合型基金脱退損	848	—
火災損失	—	180
その他	184	299
税金等調整前当期純利益	16,075	8,896
法人税、住民税及び事業税	6,686	3,793
法人税等調整額	1,062	84
少数株主利益	100	100
当期純利益	8,226	4,918

連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	第5期 (2005.4.1~2006.3.31)	第4期 (2004.4.1~2005.3.31)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	66,909	60,736
資本剰余金増加高	16,510	6,173
株式交換による増加高	16,510	—
自己株式処分差益	0	—
新株予約権の行使による新株の発行	—	147
増資による新株の発行	—	6,025
資本剰余金期末残高	83,419	66,909
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	45,102	46,110
利益剰余金増加高	8,226	5,003
当期純利益	8,226	4,918
持分法適用除外による増加高	—	26
持分法適用による増加高	—	25
土地再評価差額金取崩額	—	32
利益剰余金減少高	3,065	6,012
配当金	2,112	1,567
役員賞与	214	61
土地再評価差額金取崩額	738	—
子会社の合併による減少高	—	4,383
利益剰余金期末残高	50,262	45,102

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科目	第5期 (2005.4.1~2006.3.31)	第4期 (2004.4.1~2005.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,465	6,125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,452	△ 17,612
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,885	11,396
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,872	△ 91
現金及び現金同等物の期首残高	13,355	13,446
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加高	7,289	—
現金及び現金同等物の期末残高	13,771	13,355

- 1 売上高**……ミドリ電化統合による増加。デオデオ・エイデンの既存店では103.8%であり、薄型テレビおよび寒波による季節商品などの需要増。
- 2 売上総利益**…エイデンの白物家電構成比の増加による売上総利益率約+0.3%。オリジナル商品構成比前年30.0%→27.0%による売上総利益率約▲0.2%。
- 3 販売管理費**…新規店増加に伴う広告宣伝費増による販管費比率+0.7%。ミドリ電化統合による人件費減による販管費比率▲0.7%。レンタル事業開始などに伴う設備費増による販管費比率+0.5%。
- 4 経常利益**……ミドリ電化統合による増加。財務統合による支払利息の削減(前年比26.3%削減)。